

令和元年度第1回印西市介護保険等運営協議会会議録（概要）

開催日時：令和元年8月7日（水）13：30～15：30

開催場所：印西市役所会議棟 204会議室

次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者：藤田裕介委員、大沢良之委員、武田好子委員、近藤幸一郎委員、永田庄吾委員、柴田勇介委員、蓮実篤佑委員、正畑洋子委員、樋口宗司委員、石田君枝委員、五十嵐順郎委員、大井道代委員

欠席者：なし

事務局：青木高齢者福祉課長・小川係長・杉田係長・河合係長・谷川係長・井口主任主事
 会議資料：会議次第、資料1、資料2

議事内容

事務局	<p>本日の会議につきましては、「印西市市民参加条例第11条第4項の規定」に基づき、原則公開となっております。</p> <p>また、会議録作成の都合上、録音させていただきますことをご了承願います。</p> <p>なお、本日、傍聴人がいらっしゃいますので、すでに1名の方に入室していただいております。</p>
事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和元年度第1回印西市介護保険等運営協議会を開催いたします。次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	(会長あいさつ)
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、高齢者福祉課長よりごあいさつを申し上げます。</p>
高齢者福祉課長	(高齢者福祉課長あいさつ)

事務局	<p>続きまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>皆様には、「令和元年度第1回印西市介護保険等運営協議会会議次第」、「資料1」、「資料2」を事前にお配りしてございますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>また、以前にお配りした「第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（ピンク色の冊子）」についても、お持ちでしょうか。</p> <p>もし、無いものがございましたら、お申し出いただきたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>												
	(資料の確認)												
事務局	<p>それでは、議題に入らせていただきます。印西市介護保険事業実施規則第55条の規定により、「会長が会議の議長になる」となっておりますので、藤田会長、議事進行をお願いいたします。</p>												
議長	<p>それでは早速、議題の(1)「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>												
事務局	(担当から資料1の説明)												
議長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、委員の皆様、何かご意見・ご質問がありましたら、お受けいたします。何かございますか。</p>												
委員	<p>まず資料1の1頁と2頁を比較して2頁の給付費については、伸び率が%で表記されていますが、1頁については、前年同期比が人数や金額の増減の実数になっており、伸び率が表記されていません。率が表記されていなければ資料として増減の判断がつき難いです。</p> <p>1頁に率を記載しないことに何か理由はございますか？</p>												
事務局	<p>資料1は被保険者数、保険料額、資料2は給付費の内容を扱ったものであり、内容の違いから被保険者数については人数で表記、給付費については率での表記にしたものです。</p>												
委員	<p>今後は、率の表記に改めた方がわかりやすいと思います。</p> <p>資料1の前年同期比を計算しましたので、皆さんお書きください。</p> <p>①被保険者数</p> <table> <tr> <td>高齢者人口（65歳以上）</td> <td>4.66%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上75歳未満</td> <td>3.69%</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>6.07%</td> </tr> </table> <p>②被保険者認定者数</p> <table> <tr> <td>高齢者人口（65歳以上）</td> <td>3.68%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上75歳未満</td> <td>0.90%</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>4.06%</td> </tr> </table> <p>③保険料賦課額</p>	高齢者人口（65歳以上）	4.66%	65歳以上75歳未満	3.69%	75歳以上	6.07%	高齢者人口（65歳以上）	3.68%	65歳以上75歳未満	0.90%	75歳以上	4.06%
高齢者人口（65歳以上）	4.66%												
65歳以上75歳未満	3.69%												
75歳以上	6.07%												
高齢者人口（65歳以上）	3.68%												
65歳以上75歳未満	0.90%												
75歳以上	4.06%												

	<p>保険料賦課額 9.41%</p> <p>特別徴収 10.06%</p> <p>普通徴収 4.19%</p> <p>④保険料収納額</p> <p>保険料収納額 9.61%</p> <p>特別徴収 10.06%</p> <p>普通徴収 5.59%</p> <p>このように%を表記しますと、保険料の収納額が前年比9.61%の伸び率を示しているのに対して、給付費合計の伸び率は5%に留まり、支出の伸び率以上に収入の伸び率がよいことが明らかになります。それにも関わらず、収入の伸び率を資料に記載しないことには収入があることを隠しているように見えます。印西市が財政的に豊かであるのならば、医療相談所の開設はできないでしょうか。例えば日本医大に委託するという方法があると思います。</p>
事務局	<p>次回の資料では率を記載するようにしたいと思います。</p>
議長	<p>他に質問がある方はいらっしゃいますか？</p>
委員	<p>資料1についての質問になりますが、保険料収納の方法が特別徴収と普通徴収の二つに分かれているのはなぜなのでしょう？</p>
事務局	<p>基本的に介護保険料については年間の老齢基礎年金が18万円以上の方の場合には、年金からの天引き、特別徴収となりますが、65歳になられた年度や転入した場合、また老齢基礎年金をすぐにはもらわないという方の場合には、納付書での支払いである普通徴収となります。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
議長	<p>他に質問がある方はいらっしゃいますか？</p>
委員	<p>先ほど資料1に率を表記していただいた続きの話になりますが、①の被保険者数の伸び率が4.66%であるのに対して、②の被保険者認定者数の伸び率は3.68%となっています。すなわち、人口増加に比べて介護保険利用者が少ないということです。私は、最初、このことを印西市の高齢者は、健康で介護がいない方が多いと捉えていました。しかし、もう一つの側面としては、市民がサービスの利用方法を知らないなど、認定が厳しい、サービスが悪いということも考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、柏市では、80歳以上の独居高齢者に訪問があったとのこと。他市ではこうした高齢者に温かい話が聞こえてきますが、印西市では、65歳になっても民生委員からの電話のみなど、高齢者に対して冷たいように感じられます。このように高齢者へのサービスが</p>

	<p>行き届いてない、サービスが悪い為に、認定率が低いといった点については、どのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>介護保険料の収納の伸びから、高齢者訪問等のサービスの充実の話に至りましたが、実際には、介護保険料は介護保険給付費に充てるためと用途が定められておりますので、高齢者訪問の施策の為に使うことはできません。高齢者訪問と介護保険制度は別物であると認識いただければと思います。ただし、ご指摘のとおり高齢者人口が増えてきている中で高齢者のサービスの充実は課題として検討していきたいと思っております。</p>
委員	<p>厚労省からの説明資料によりますと、給付費の23%が65歳以上の方の保険料ですよ。</p> <p>資料1によれば⑤介護（予防）給付費と⑥介護予防・日常生活支援総合事業費を合計し、給付費は43億7496万4259円です。</p> <p>23%を必要な保険料と計算しますと10億624万1779円です。しかし、実際に保険料の収納額を見ますと、13億9241万4449円であり、約4億円程度余剰金があるように思えます。</p> <p>こうした余剰金は、どうしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>介護保険料は、3年に一度、高齢者人口の増加や保険給付の見込みの推計によって設定していますが、保険料に余剰金が発生した場合には基金に積み立て、必要な場合に取り崩すことになっています。</p> <p>例えば第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画において特別養護老人ホームを新たに100床整備することになっていますが、保険給付費が増加し、保険料収入が不足した場合などに余剰金を積み立てた基金が活用されます。また、基金が十分にある場合には次期計画の策定時に保険料を抑えることに活かされることも考えられます。</p>
委員	<p>印西市は、人口も増え、介護保険料の収入も増え、高度経済成長にある。であれば、余剰金を活かした施策は何か考えられないのでしょうか。例えば、地域包括支援センターがありますよね。地域包括支援センターの職員の給料は、印西市の職員と同じでしょうか。相当に違うのではないのでしょうか。給料がいいと、いい人材が来る。印西市民にとっても良いはずですよ。地域包括支援センターの職員の月給を40万、50万に上げればいい人が集まり、印西市はもっと住みやすくなるのではないでしょうか。ケアマネジャーの方達の生活も大変であると思っております。こうした低賃金の問題や困っているお年寄りに優しい手を差しのべるような施策のために余剰金を活用していただければと思います。</p>
議長	<p>一つ教えていただきたいのですが、介護保険料が上がると、介護施設の料金が上がるとか、介護保険料が下がると、介護施設の料金が下がるとかということはあるのですか？</p>

事務局	直接的な関係はありません。利用料には決まった介護保険の報酬基準単価があり、それは市町村毎の地域区分によって定められたものです。そのため、介護保険料が上がったり下がったりすることでサービスの利用費用が直接に変わるわけではありません。
委員	<p>等級地を上げる、上げないについては以前から議論になっていることでした。印西市は等級地を2級地まで上げられると言われていました。しかし、介護報酬が上がれば給付費も増加するわけで、そうすると介護保険料の増加にもつながってきます。</p> <p>先ほど特養を新たに整備する話がありましたが、施設側の要望としては、むしろ人材の確保の方が必要であると思っています。</p> <p>高齢者が増えてきても、支える働き手が足りなければ、現場は外国人だらけになってしまうのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>追加でお話ししますね。前回、地域包括支援センターの会議があつて、そこで監査が必要ではないかと提案したのですが、それは人件費がどれくらいかかっているのかということを知りたかったからでした。</p> <p>ケアマネジャーさんや、社会福祉士さんたちにも印西市の職員と同じくらいのレベルの給料が払われていると良いと思ったのです。介護の現場の人達は、自分では言いづらいですが、お金で苦勞しています。箱物よりは、人材を確保して欲しいです。介護現場で働く人達のことを真剣に考えてください。お願いします。</p>
議長	<p>たくさん意見が出ました。難しい点もあるとは思いますが、このことについて、対応していただければと思います。他には何かご意見ございますか？</p>
委員	<p>人材の確保についてですが、市役所だけではなく事業所側の改善も必要であると思っています。事業所は会社に所属しているので、会社の利益の為に経営される側面がある。そうした中でもケアマネジャーの給料を上げるなど、事業所が介護の現場で働く人達の待遇を考えていかなければならないのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>ありがとうございます。事業所の方は意見ありますか。</p>
委員	<p>小さい事業所では赤字の経営になってしまい、現実的に待遇の改善が難しい場合があります。賃金の待遇を上げるには地域加算を上げる必要がありますが、それは介護保険料を高くし被保険者の方々に負担を強いることでもあります。</p>
委員	<p>印西市の現在の等級地は低いのでしょうか？</p>
事務局	<p>印西市は現在5級地で佐倉市など同水準です。千葉県では成田市など4級地の市町村もありますが、印西市より低い等級地の市町村もあります。等級地については検討していきたいです。</p>

委員	介護保険料の余剰金の話に戻ってしまいますが、積み立てる基金というのは印西市の外部の基金なののでしょうか？
事務局	基金は印西市の介護保険特別会計にあるものです。
委員	印西市の財布であるならば、高齢者のサービスの充実に使ってもらいたいです。
委員	民生委員の高齢者訪問について補足して説明しますが、高齢者福祉課からの依頼で、印西市でも電話確認だけではなく対象世帯を訪問しています。対象は70歳以上の独居の方と75歳以上の高齢者世帯です。訪問して、福祉ニーズや介護保険のサービスが必要な方には行政や地域包括支援センターにつなぎ対応しています。
議長	他には質問はありますか。
委員	先ほど、特別養護老人ホームの施設の建設の話がありましたが、詳細を教えてください。
事務局	第7期計画で平成30年度から令和2年度の間には100床の介護老人福祉施設の整備を予定しておりまして、原山地区に建設しているところです。
議長	他には何か意見等ありますか。ないようでしたら続いて（資料2）の説明の方をお願いします。
事務局	続いて（資料2）の説明
議長	ただ今、資料2につきまして事務局から説明がありましたが、委員の皆様、何かご意見・ご質問がありましたら、お受けいたします。何かございますか。
委員	23頁に「生活支援サービスの体制整備・充実」で社会資源マップを作成しましたとありますが、どうなっていますか。
事務局	作成後の点検作業をしているところです。
委員	サービス付き高齢者向け住宅で起きている問題の一つがあります。本来であれば自立に近い方が入所する施設であります。重度の方のほうが逆に手がかからず、また事業者の収入がよくなることから、優先して入所させています。こうした問題に市は介入しないのでしょうか。
事務局	管轄が千葉県になりますので、直接的には介入しません。しかし、利用者からの相談などを受けてはします。
委員	質問ですが、6頁に「在宅医療・介護連携推進会議」とありますが平成31年3月の第3回在宅医療・介護連携推進会議について、参加者は、何名位で、どのような議論をされたのでしょうか。議事録は公開されていますか。
事務局	医療介護関係者12名の委員で構成された会議です。議事録につきましては、ホームページでも公開されています。

委員	<p>医療の分野については行政に専門家がおらず、お手上げの状態になっているように思えます。調べてみますと、松戸は松戸市立病院、船橋は船橋医療センター、柏は柏市医師会などの医療相談があることがわかりました。私は、医療相談所や介護相談所を印西市に開設するべきであると考えています。ただ、印西市には松戸市のように先進的な医師会がありませんので、現実的には委託するのがよいと思っています。北総病院に印西市民の医療や介護、諸々の相談をお願いしてみてもいいでしょうか。</p> <p>印西市が合併する前の緊急搬送先はセコメディック病院と成田日赤病院でした。近隣に北総病院がありながら住人がサービスを何も受けられないことは不満でした。現在では助成金のおかげで、北総病院も緊急搬送先として受け入れられるようになっています。</p> <p>寄付金を活用するなどして北総病院に医療相談所の開設をお願いすることはできないでしょうか。医療相談所は相談を受け治療を受けた患者の医療過誤の責任問題が発生した場合に対応できるよう大学病院ぐらいの規模があるのが理想です。例えば突発性難聴になった場合などには早期のステロイドの投薬によって改善されることがありますが、救急車を呼ぶ人は多くありません。手遅れにならないように困った時に相談できる場所が必要であると思います。住みやすい街を作ろうと思えば、是非、医療相談室をしかるべきところをお願いしたいです。</p> <p>また、別の内容になりますが、資料2を見ますと、参加実人数が30人程度と少ない事業が多くみられます。これは施策として成立してないのではないのでしょうか。自治会、高齢者クラブの力を借りるなど間口を広げていく必要があるでしょう。自治会、高齢者クラブ、町内会の会長のなり手がいないという問題もありますが、市民活動推進課と協同して、地域集会、地域社会について、コミュニティのバックアップを考えてほしいです。</p>
議長	<p>委員から北総病院に医療相談所の開設の委託の提案がございましたが、これについて反対の方はいらっしゃいますか？ないようでしたら委員の総意として市の方へ要望したいと思います。</p>
事務局	<p>医療相談室については、在宅医療・介護連携推進会議の方でも委員と相談し検討しているところになります。</p>
議長	<p>地域のコミュニティの支援についてはどうでしょうか？</p>
委員	<p>社会福祉協議会から補足しますが、このことについては、社会資源マップの作成や生活支援コーディネーターの配置をするなどの取り組みを行っています。</p>

委員	<p>認知症予防、アンチエイジングには食事と運動とコミュニティが大事であると言われてしています。若く元気でいられるには食事や運動だけではなく地域のコミュニティが重要です。</p> <p>女性は井戸端会議で関係を築くのが上手ですが、男性は65歳までは企業戦士で印西市はベッドタウンで寝る場所という方が多いです。</p> <p>なので、60歳の男性の誕生日に地域のサークル、同好会等についてダイレクトメールで情報を提供し、コミュニティへの参加を促すとよいと思います。</p>
議長	貴重な意見をありがとうございます。他に何か意見はありますか？
委員	資料2の①の「脳の健康教室」や②の「動いて！認知症予防（介護予防教室）」は魅力的な施策です。しかし、高齢者は会場への移動手段がなく参加できない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。なので、地域の集会所等を活用するなど、地域に密着して開催していく必要があります。内容がよいものであっても参加者が少なければ意味がありません。参加しやすい実施方法を検討すべきです。
議長	ご意見ありがとうございます。検討していただければと思います。他には何かありますか？
委員	資料2の記載の方法についてですが、実施した事実だけではなく、実施した結果がどうであったのか評価を示してもらいたいと思います。例えば24頁の「①高齢者向け住宅整備状況の周知」ですが、【進捗状況】には「介護保険事業所向けにアンケート調査を実施しました」と書かれているだけで、実施した結果がわかりません。このような具体性を欠いた報告が資料に散見しました。PDCAサイクルに沿って実施した結果、どのような課題が見つかって、どのように問題解決に努めているのかを記載してもらいたいと思います。例えば、人数が目標値に満たなかった場合、結果をどのように捉えているのか。こうしたことの検討がないと、大切な事業としてやっているのか疑問を抱いてしまいます。追記でも良いので見える化を行って欲しいです。
委員	同意見です。事業者へアンケートを行ったのであれば、こうした問題点が見つかりました、それについて検討しています等、もう少し具体的に書いていただきたいです。そうすれば、委員の方でも意見を出しやすいと思います。
委員	まったく同意見です。60歳の誕生日にダイレクトメールを送った方がよい等提案させていただいたのは、具体的にアドバイスが必要であると考えたからでした。些細なことでも良いので何か取り組んでいただければと思います。
議長	ありがとうございます。次回の会議の際には、簡単にでもよいので、も

	<p>う少し具体的に記述いただけるよう、是非、お願いしたいと思います。</p> <p>何か他に意見はありますでしょうか？ないようですので、議題の（１）「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について」は、異議なしとします。</p>
議長	<p>次に、（２）「その他」を議題といたします。委員の皆様より、何かご意見等ございますか。</p> <p>ないようですので、以上を持ちまして、本日の議事を終了いたします。委員の皆様、お疲れさまです。ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>藤田会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間のご審議お疲れ様でした。</p> <p>それでは、次第４のその他でございますが、事務局より委員の皆様にご連絡いたします。本日の委員報酬につきましては、皆様の指定口座に振り込みとさせていただきます。</p> <p>また、次回の介護保険等運営協議会でございますが、来年１月以降を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上を持ちまして「令和元年度第１回印西市介護保険等運営協議会」を閉会いたします。</p>